

6月議会
一般質問

日本共産党議員団は5月30日に一般質問を行いました。日本共産党議員団の登壇質問および、市長の答弁です。

栗山香代子議員



3月11日に発生した東日本大震災では多くの方が亡くなり、いまだに行方分からない方の数は8526人(29日現在)となっています。3カ月近くがたち、今後の復興について自治体での差も出ています。住宅や仕事といった個々の住民の生活再建、事業の再建をどうしていくのか、大きな課題となっています。

被災された方の中に、建てたばかりの家を流された、ローンだけが残ってしまったという例も報道されています。日本共産党では二重ローンを避けるため、ゼロスタートとなるよう国に求め、国も何らかの対応をしていく方向で進めています。

しかし、一人ひとりの状況は皆、異なります。ローンを抱えなくても良いようにと、退職金を使い建てたばかりの家を流された例も聞きました。もうローンも組めず、国や自治体からの対応はどうなるのか、今後の生活への不安と、行き場のない憤りを抱えながら過ごさなくてはならないとの嘆きを聞く、慰めの言葉もありません。

マグニチュード9.0の地震と大津波という自然災害、その後の原子力発電所の事故という人災、これらに「想定外」との言葉が使われました。国の防災基本計画では何を想定していたのでしょうか。

そして、厚木市で想定されている災害にはどんなものがあるのでしょうか。厚木市地域防災計画は、地震災害対策編、風水害等対策編、資料編の3編で成り立っています。

地震災害対策編は東海地震、南関東地震など6つの地震を想定した対応について書かれています。また、風水害等対策編では、地震以外の自然災

害と特殊災害が想定されています。台風などの風水害、雪による災害、大規模な列車衝突事故や道路損壊による道路災害、危険物貯蔵・取扱施設などでの火災・爆発の発生、及び不発弾の除去と言った危険物等災害、大規模な火事災害、林野火災、航空災害として、厚木基地の米軍機・自衛隊機又は民間航空機が市内や周辺山中に墜落した場合もあります。

その他の災害としては富士山や箱根火山の噴火による災害、地下街での火災やガス爆発・浸水事故等の地下街災害、それに放射性物質での災害も想定されています。

東日本大震災以来、市民の皆さんから、厚木で起きる災害の想定についての不安の声が聞かれます。市は地域防災計画の見直しをするとのことですが、どのような見直しをするのでしょうか。その方向性は何か。

市長 地域防災計画につきましては、災害対策本部の設置、職員の配備計画、防災知識の補給などを定めた応急活動事前計画や、復旧・復興計画などを定めております。

見直しにつきましては、このたびのような想定をはるかに超えた、大震災が起こりうることを踏まえ、様々な角度から検証し、市民の皆様意向も含め県との整合性を図りながら修正してまいりたいと存じます。

初日の申し込みは118件
リフォーム助成申請始まる



一時は廊下まで待つ人が。

6月1日リフォーム助成の申請受付が始まりました。始業前の8時半以前に並んだ人もいました。担当課は「今まで準備していた人が初日に集中した」と言っています。工事費が多いのは30〜50万円、200万円を超す人も。今回の申し込みは210件です。お早め！

今週の活動から



5月28日鳥獣問題議員連盟の会場で(上・栗山議員)。29日厚木市さつき



まつり(下・釘丸議員)

市民の声を反映させるための取り組みは

市長 地域防災計画の見直しを行うにあたり、市内でのプロジェクトチームを発足するとともに、防災の専門家や関係機関の方々、さらに公募市民から選出した委員による地域防災計画見直し検討委員会を立ち上げ、大規模な災害に備えた見直しを行ってまいりたいと考えております。

市民の望む保育制度を確立することについて

栗山議員 「想定外」と言えば子ども

の怪我や病気も、突然の出来事です。厚木市は家庭と仕事との両立を謳っています。保護者が自分で看病できればそれに越したことは無いのですが、仕事をしていたらなかなか休めないというのも、事実です。そんな時、安心して子どもを預けられるところがあればいいと思うのは、一人や二人ではないでしょう。

保育所の待機児童を解消するための方策は

市長 受け入れ定員の拡大など、総合的に各種の事業を推進することにより、待機児童の解消に向け、取り組みでまいりたいと考えております。

認可・認可外保育所(園)での、保育の質を向上させるための取り組みは

市長 市といたしましては、児童の心身共に健やかな成長と発達のため、毎年、厚木市保育協会の協力により、認可・認可外保育所(園)の保育士等を対象とした保育の専門分野の講師による研修会の開催、大学等が実施する講座などの開催情報を提供することなどにより、保育の質の向上を図っております。

病児・病後児保育を

実施すべきと思うが、どうか
市長 病児・病後児保育につきましては、病児や病気の回復期である児童を、保育所や病院に併設した保育施設で一時的に預かる事業であります。病後児保育につきましても、民間保育所、1園が、平成17年9月から実施しております。

また、病児保育につきましては、医療施設内の保育スペースの確保、看護師等の人材確保など、多くの課題があり、実施が難しい状況にあります。

厚木地域防災計画の見直しについて

議員団ニュース

2011年6月① 365号

議員団HP <http://jcpatsugi.blog.shinobi.jp/>日本共産党
厚木市